



令和2年11月17日発行

高宮だより

安来市立第二中学校通信

第7号

文責 校長

10月31日(土)

アルテピア大ホールで合唱コンクールを開催しました!

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校で学習発表や学習成果物の展示を行い「文化祭」として開催することができず、「合唱コンクール」としての実施となりました。

生徒たちは様々な制約の中、フェイスシールドをつけ、熱心に合唱練習に取り組んできました。生徒会事務局は、コンクールのスローガン「音楽で 結ぶ絆と 咲く笑顔」を決め、学級ごとに分担して横断幕に仕上げる企画や、「合唱コンクール版 長所の木」(右上参照)の作成など、学級の団結を高める取組を実施しました。吹奏楽部もこの日のために、猛練習を重ねてきました。その成果を生徒たちは十分に発揮し、心をひとつにして素晴らしいハーモニーを大ホールに響かせました。

今年度は9月に予定していた修学旅行が2月末から延期となり、修学旅行で安来節をつかった安来PR活動を実施予定であるため、安来節踊りの練習もまだ始まっておりません。そのため、文化祭で、地域の皆様や保護者の方に公開予定であった2年生による安来節踊りを見ていただくことができず、大変残念に思っております。しかしながら、アルテピアという広くて素晴らしい舞台上、生徒たち自身が作り上げた「合唱コンクール」を、安全に保護者の方にもみていただくことができました。



練習では、本番直前までとまららず大変でした。しかし、全員が本番までには完成させようという思いで、音を合わせようと努力しました。本番では、練習したことをすべて出し切り、今までで一番の合唱ができてよかったです。(2年課題曲指揮者 I・Aさん)



僕たち3年生は合唱コンクールに向けて全員で練習してきました。今まで以上に練習に全力で取り組み、とてもいい合唱ができました。今回の合唱は3年生最後の合唱で僕たち全員の目標であった1、2年生の目標になるような合唱ができたと思います。3年生の最後にふさわしい合唱ができたと思いました。(3年指揮者 T・Sさん)

合唱コンクール結果：最優秀賞 3年生
最優秀指揮者賞：T・Sさん 最優秀伴奏者賞：A・Eさん



生徒会活動報告④ 合唱コンクール版「長所の木」の取組

合唱コンクールに向け、各学級で練習等に取り組んできた中で見たクラスメートの長所を、一人一枚の葉に書いて、長所の木を作成しました。各学年の一枚ずつ紹介します。

1年生

ここはこんな風に歌おう、など声をかけてくれてとても分かりやすかったです。(中略)引っぱってくださりありがとうございました。

2年生

パートリーダーをしていて、2年生の自分のパートの人が指導をちゃんと聞いてくれてやりやすかった。

3年生

最初はみんなハモる事ができなかったけど、練習を続けていくうちにできるようになりました。これからも練習して最後はみんなが笑顔で終われるようにがんばろう!

11月5・6日 出雲地区バレーボール大会に出場しました!

5日は斐川東中に勝ち、準々決勝に進みました。6日の準々決勝では、東出雲中に惜しくも敗れ、ベスト8でした。副キャプテンY・Sさんの感想を掲載します。

「自分達のリズムをつかむと全員プレーをし、1点決まるとみんな全力で喜ぶことができ、すごく楽しく試合をすることができました。しかし、たくさんの課題も見つかり、これから練習し優勝できるように1から頑張っていきたいです。」



二中では安来の未来を切り拓く生徒の育成を目指し、地域を知り、地域に学び、地域に活かす「ふるさと学習」に力を入れています!

今年はいこれまでの遠足とは違い、校外ふるさと学習ということで「市役所」で市役所内のことや安来のことについて学び、「上の台緑の丘」の体育館でビンゴゲームをしたり清掃活動を行いました。最後に「安来節演芸館」で歌や踊りを見ました。プロの踊りはキレがありさすがだなと感じました。(3年 N・Aさん)



僕たちは、「安来の医療を考える市民ワークショップ」に参加しました。今回のテーマは安来市の医療の現状と今後の医療についてでした。安来市の中学生から大人までみんなで話し合いました。安来市の現状を知って、僕たち若い世代が頑張っていく必要があると思いました。(2年 M・Nさん F・Iさん)



私たちは11月8日にあった能義地区文化祭で演奏をしました。久しぶりに外での演奏だったので、風で楽譜が飛んだり、譜面台が倒れたりしました。しかし、たくさんの曲を聞いていただけうれしかったです。(吹奏楽部部长 M・Nさん)



裏面に「児童虐待の根絶に向けて」(文部科学大臣メッセージ)を掲載しています。是非ご覧ください。